



新桐生駅 駅前広場整備が完成しました

群馬県 都市計画課

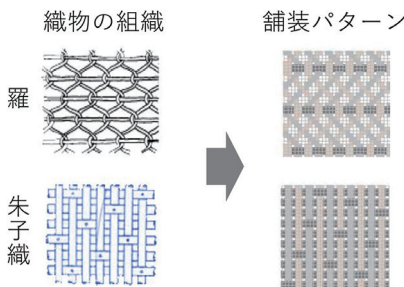
■ 駅前広場整備について

新桐生駅(東武桐生線)は、首都圏からのまちの玄関口として重要な駅であることから、他の交通手段との連携がとれた環境整備が望まれています。

本事業では、現在の駅前の敷地を拡張し、外周部への歩道整備や区画線による車両の通行部分の明示を行うことにより、自動車・歩行者動線を明確にし、誰でも安心安全に利用出来る広場整備を行いました。

バリアフリー整備としては、身体障害者用スペースの設置や乗合自動車停留所へのベンチ及び上屋の設置等を行いました。

また、新桐生駅へのアクセス道路である新桐生停車場線については、両側歩道整備に加え、路肩を広く整備することで、車道内に自転車が安全に走行できる通行空間を整備しました。



駅前広場歩道舗装イメージ図



完成した駅前広場



駅前広場歩道舗装

■ 駅前広場の舗装・照明デザインと植栽について

駅の入出口には桐生市の象徴である「のこぎり屋根」の工場をかたどった舗装を採用しました。駅前広場とアクセス道路の歩道舗装には、桐生の町を支えてきた伝統文化と市外の文化のあらたな出会いを期待させる街の玄関口として、桐生市の主要産業である織物をイメージした舗装デザインにしました。

照明については、必要な照度を確保しつつ、歩行性能照明(平場、段差の認識)、誘導照明(曲がり角等の空間認識)、危険予測照明(車が事故を起こしにくくするための危険予知を促す照明)を実施し、駅広利用者の安全安心を確保する照明景観設計にしました。

植栽については、ワークショップを行って地元の皆さんの意見を伺い、それらを加味して計画しました。ロータリーの真ん中には、キンモクセイを植樹し、歩道内については、白い花を咲かせるヤマボウシとエゴノキを植樹します。タクシープールと一般送迎周辺、アクセス道路部分の植栽は、車の視界を遮らない低木の寄植えとし、一つが桜並木から続くオオムラサキツツジ、もう一つはクリスマスツツジを植樹します。



のこぎり屋根舗装デザイン



夜間照明の様子

■ 最後に

駅前広場が整備されることにより、安全な駅の利用はもちろん、地域の賑わいや住民の交流の活性化、まちの活性化へつながられることも期待します。事業にご協力いただきました地元住民、鉄道利用者及び関係機関の皆様にごこの場を借りて感謝申し上げます。

